

学校からの依頼を受けて、次のとおり横浜市立富士見中学校で環境出前授業を実施したので報告します。

実 施 日	平成 24 年 2 月 6 日 (月)、2 月 20 日 (月) 9:00～9:50		
実 施 学 校 名	横浜市立富士見中学校 (横浜市中区山田町 3 - 9)		
授 業 テ ー マ	ごみと 3 R—ごみを増やさないエコ生活— ----- 風呂敷の秘密—究極のリデュースでごみを減らす—		
対 象 学 年	1 年 1 組 ----- 1 年 2 組	受 講 児 童 (生 徒) 数	35 名 ----- 37 名
授 業 実 施 者 人 数 ・ 氏 名	7 名 かながわ環境カウンセラー協議会会員 岡本正義、嶋田和夫、木村信幸、河野健三、大野昌美、 平野雅明、吉野栄一		
授業実施テーマと体制			
2 月 6 日 : 1 組 風呂敷包み (嶋田講師)、2 組 ごみと 3 R (岡本講師)			
2 月 20 日 : 1 組 ごみと 3 R (岡本講師)、2 組 風呂敷包み (嶋田講師)			
授業実施形態			
風呂敷包みを嶋田講師が、ごみと 3 R を岡本が担当し、KECA 会員が 2 名ずつ授業補助者として付いて、1 組と 2 組が同時並行で授業を進めた。			
実施した授業の概要			
「ごみと 3 R」			
①温暖化シミュレーション動画像を見て、地球の将来の温度変化を知る			
②生徒の身の回りや暮らしの中にある 3 つの品物を 3 R に分類する			
③リサイクル実験 : ペットボトルの蓋、ラベル、本体の 3 つのプラスチックを比重分離で分ける			
④まとめと振り返り : ワークシートに感想を書き、発表する			
「風呂敷包み体験」			
①きれいな地球を画像で見て、ごみが増えると地球はどうなるか? 考える			
②買い物を例として包装紙の問題を考える			
③エコバッグに代わる風呂敷の包み方 4 種類を体験する			
④風呂敷の活用として包む以外の例を紹介する			
授業実施の感想と課題			
・ 準備がしっかりと出来ていたので、50 分の短い授業であったが、充実した授業ができた			
・ 的確な対応や回答をした生徒をほめることをもっとやった方が良い。			
・ 馴染みが薄い風呂敷包みは、生徒には印象深い体験になったようだ。			

- ・担任と補助の先生が授業の補佐をして頂くなど学校側の協力は十分にあった。
- ・学校が、県の新エネ・省エネ学校派遣事業の申し込みに遅れたため、県からの補助はなかったため、KECAのボランティア活動として実施した。次年度も学校からは是非、出前授業を実施して欲しいとの要望があったので、県の手続きが開始されたら、KECAから学校へ連絡することにした。

授業実施のスナップ写真



地球温暖化シミュレーション動画像を見て、将来の地球の状態を知る。ごみの問題に繋げる



ペットボトルのプラスチックを比重を使って分離する
実験を良く観察して、変化に気付いている
観察のポイントをアドバイスしている



まとめと振り返りで生徒が感想などを発表している。
ごみを減らすことの大事さに気づき、リサイクルなどを進めたいと述べた生徒も多かった。



きれいな地球の画像と増え続けるごみの画像を見て、ごみが増えたと地球はどうなるか？考えました



ごみのもとになるレジ袋を減らすにはエコバッグやふろしきが便利なのに気が付きました



風呂敷でこんな素敵なリュックサックができました